

寸法検査記録

検査年月日：令和4年3月4日

検査場所：[Redacted]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号：68号機

名称		公称値※ (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	結果		
放射線遮へい材	胴	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]		
	中性子遮へい材 トランニオン周辺部以外					良	
	中性子遮へい材 トランニオン周辺部					良	
	外筒					[Redacted]	
	底部					底板	[Redacted]
	中性子遮へい材					良	
	中性子遮へい材カバー					[Redacted]	
	蓋部					一次蓋	[Redacted]
	中性子遮へい材					良	
	中性子遮へい材カバー					良	
	二次蓋					良	

判定基準：実施計画に記載されている各部の主要寸法の計測値が許容寸法を満足すること。

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

[Redacted]

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年5月13日、令和3年5月20日

令和3年5月25日、令和3年6月22日、令和3年10月28日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

※：実施計画記載値

寸法検査記録

検査年月日: 令和4年 4月 18日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 68号機

名称		公称値* (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	結果	
放射線遮へい材	円筒部	胴	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	良	
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部以外		<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>		
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部		<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>		
	外筒			<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	良	
	底部	底板			<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	良
		中性子遮へい材			<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	
		中性子遮へい材カバー			<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	良
	蓋部	一次蓋			<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	
		中性子遮へい材			<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	
		中性子遮へい材カバー			<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	
		二次蓋			<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	

判定基準: 実施計画に記載されている各部の主要寸法の計測値が許容寸法を満足すること。

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和3年 10月 27日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

※: 実施計画記載値

寸法検査記録

検査年月日: 令和4年 8月 25日

検査場所: [Redacted]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 69号機

名称		公称値* (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	結果
放射線遮へい材	円筒部	胴	[Redacted]	[Redacted]	良
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部以外			良
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部			良
		外筒			良
	底部	底板			良
		中性子遮へい材			良
		中性子遮へい材カバー			良
	蓋部	一次蓋			
		中性子遮へい材			
		中性子遮へい材カバー			
二次蓋					

判定基準: 実施計画に記載されている各部の主要寸法の計測値が許容寸法を満足すること。

備考

~~※は立会を示す。それ以外は、~~ 申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 6月 3日 令和3年 11月 19日

令和3年 6月 11日

令和3年 7月 9日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑: 確認

※: 実施計画記載値

寸法検査記録

検査年月日: 令和4年 8 月 25 日

検査場所: [Redacted]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 70号機

名称		公称値* (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	結果		
放射線遮へい材	円筒部	胴	[Redacted]	[Redacted]	良		
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部以外			良		
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部			良		
		外筒			良		
	底部	底板			良		
		中性子遮へい材			良		
		中性子遮へい材カバー			良		
	蓋部	一次蓋			[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
		中性子遮へい材					
		中性子遮へい材カバー					
		二次蓋					

判定基準: 実施計画に記載されている各部の主要寸法の計測値が許容寸法を満足すること。

備考

~~※は立会を示す。それ以外は~~ 申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 7月 2日

令和3年 10月 11日

令和3年 12月 10日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

※: 実施計画記載値

寸法検査記録

検査年月日: 令和4年 8月 25日

検査場所: [Redacted]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 71号機

名称		公称値* (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	結果		
放射線遮へい材	円筒部	胴	[Redacted]	[Redacted]	良		
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部以外			良		
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部			良		
		外筒			良		
	底部	底板			良		
		中性子遮へい材			良		
		中性子遮へい材カバー			良		
	蓋部	一次蓋			[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
		中性子遮へい材					
		中性子遮へい材カバー					
		二次蓋					

判定基準: 実施計画に記載されている各部の主要寸法の計測値が許容寸法を満足すること。

備考

~~*は立会を示す。それ以外は~~ 申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

[Redacted] 使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 7月 2日

令和3年 11月 17日

令和4年 1月 19日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

※: 実施計画記載値

寸法検査記録

検査年月日: 令和4年 8 月 25 日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 72号機

名称		公称値* (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	結果		
放射線遮へい材	円筒部	胴	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	良		
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部以外			良		
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部			良		
		外筒			良		
	底部	底板			良		
		中性子遮へい材			良		
		中性子遮へい材カバー			良		
	蓋部	一次蓋			<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	
		中性子遮へい材					
		中性子遮へい材カバー					
二次蓋							

判定基準: 実施計画に記載されている各部の主要寸法の計測値が許容寸法を満足すること。

備考

~~※は立会を示す。それ以外は、~~ 申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 9 月 30 日

令和3年 11 月 17 日

令和4年 2 月 22 日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

※: 実施計画記載値

寸法検査記録

検査年月日: 令和4年 9 月 15 日

検査場所 : XXXXXXXXXX

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 69号機

名称		公称値※ (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	結果		
放射線遮へい材	円筒部	胴	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>				
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部以外					
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部					
		外筒					
	底部	底板					
		中性子遮へい材					
		中性子遮へい材カバー					
	蓋部	一次蓋				<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	良
		中性子遮へい材					
		中性子遮へい材カバー				<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	良
二次蓋				<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	良		

判定基準: 実施計画に記載されている各部の主要寸法の計測値が許容寸法を満足すること。

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和3年 11 月 24 日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

※: 実施計画記載値

寸法検査記録

検査年月日: 令和4年 9 月 15 日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 71号機

名称		公称値* (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	結果				
放射線遮へい材	円筒部	胴	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>					
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部以外							
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部							
		外筒							
	底部	底板							
		中性子遮へい材							
		中性子遮へい材カバー							
	蓋部	一次蓋				<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	良
		中性子遮へい材							良
		中性子遮へい材カバー							良
二次蓋		良							

判定基準: 実施計画に記載されている各部の主要寸法の計測値が許容寸法を満足すること。

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和3年 5 月 18 日、令和4年 2 月 1 日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

※: 実施計画記載値

寸法検査記録

検査年月日: 令和4年 9月 15日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 72号機

名称		公称値* (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	結果	
放射線遮へい材	円筒部	胴	<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>			
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部以外				
		中性子遮へい材 トランニオン周辺部				
		外筒				
	底部	底板				
		中性子遮へい材				
		中性子遮へい材カバー				
	蓋部	一次蓋			<div style="background-color: black; width: 100%; height: 100%;"></div>	良
		中性子遮へい材				良
		中性子遮へい材カバー				良
二次蓋			良			

判定基準: 実施計画に記載されている各部の主要寸法の計測値が許容寸法を満足すること。

備考

~~本は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和4年3月3日、令和3年11月12日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

※: 実施計画記載値

外観検査記録

検査年月日: 令和3年 3月 11日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	名称	判定基準	結果
60号機	放射線遮へい材 円筒部 中性子遮へい材 (トロン周辺部以外, トロン周辺部) 底部 中性子遮へい材 蓋部 中性子遮へい材	有害な欠陥 (表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の) がないこと。	良

備考

~~※は立会を示す。それ以外は~~ 申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和2年10月9日, 令和3年1月28日

外観検査記録

検査年月日：令和3年3月11日

検査場所： XXXXXXXXXX

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
61号機	放射線遮へい材 円筒部 中性子遮へい材 （トランニオン周辺部以外、 トランニオン周辺部） 底部 中性子遮へい材 蓋部 中性子遮へい材	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は~~ 申請者の品質記録により確認
 品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書（社内検査）
 設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）
~~令和2~~年10月9日，令和3年1月28日
 令和2

外観検査記録

検査年月日：令和3年 3月 18日

検査場所： XXXXXXXXXX

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
65号機	放射線遮へい材 底部 中性子遮へい材	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良*

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認
品質記録（名称、日付）

外観検査記録

検査年月日：令和3年 4月 8日

検査場所： XXXXXXXXXX

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
62号機	放射線遮へい材 円筒部 中性子遮へい材 （トラニオン周辺部以外、 トラニオン周辺部） 底部 中性子遮へい材 蓋部 中性子遮へい材	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書（社内検査）
 設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）
 令和2年11月6日、令和3年3月16日

外観検査記録

検査年月日：令和3年 4 月 8 日

検査場所： XXXXXXXXXX

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
63号機	放射線遮へい材 円筒部 中性子遮へい材 (トランニオン周辺部以外、 トランニオン周辺部) 底部 中性子遮へい材 蓋部 中性子遮へい材	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和2年 11月 6日、令和2年12月3日、令和3年3月10日

外観検査記録

検査年月日: 令和3年9月14日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲 : 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	名称	判定基準	結果
65号機	中性子遮へい材 (円筒部トランニオン周辺部/周辺部以外、蓋部)	有害な欠陥 (表面かき傷、摩耗、クラック、腐食、変形等の欠陥のうち、機器の健全性に影響を及ぼすもの) がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年3月22日、令和3年6月22日

外観検査記録

検査年月日: 令和3年 9 月 15 日

検査場所: [REDACTED]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	名称	判定基準	結果
60号機	胴板 [*] 底板 一次蓋 バスケット 二次蓋 外筒 中性子遮へいカバー (底部、蓋部)	有害な欠陥 (表面かき傷、摩耗、クラック、腐食、変形等の欠陥のうち、機器の健全性に影響を及ぼすもの) がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 5 月 11 日, 令和3年6月14日

*令和3年9月30日削除
佐藤

外観検査記録

検査年月日: 令和3年9月15日

検査場所: [REDACTED]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	名称	判定基準	結果
61号機	銅板* 底板 一次蓋 バスケット 二次蓋 外筒 中性子遮へい材カバー (底部、蓋部)	有害な欠陥 (表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の) がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年6月1日, 令和3年7月6日

*令和3年9月30日削除

佐藤

外観検査記録

検査年月日: 令和3年 10月 12日

検査場所: [REDACTED]

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲 : 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	名称	判定基準	結果
65号機	胴 底板 一次蓋 二次蓋 外筒 中性子遮へいカバー (底部、蓋部)	有害な欠陥 (表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の) がないこと。	良*

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認
品質記録 (名称、日付) :-

外観検査記録

検査年月日：令和3年 11月 18日

検査場所： XXXXXXXXXX

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
62号機	胴 底板 一次蓋 二次蓋 外筒 中性子遮へい材カバー（底部、蓋部） バスケット	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年 5月 14日, 令和3年 5月 21日,

令和3年 9月 10日, 令和3年 6月 22日

外観検査記録

検査年月日：令和3年 11 月 18 日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
63号機	胴 底板 一次蓋 二次蓋 外筒 中性子遮へい材カバー（底部、蓋部） バスケット	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年 5月 13日, 令和3年 6月 11日,

令和3年 9月 27日, 令和3年 7月 28日

外観検査記録

検査年月日：令和3年11月19日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
64号機	中性子遮へい材（円筒部トランニオン周辺部/周辺部以外、底部、蓋部）	有害な欠陥（表面かき傷、摩耗、クラック、腐食、変形等の欠陥のうち、機器の健全性に影響を及ぼすもの）がないこと。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和2年12月21日，令和3年1月28日，

令和3年5月21日，

外観検査記録

検査年月日：令和3年 11 月 18 日

検査場所： XXXXXXXXXX

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
65号機	バスケット	有害な欠陥（表面かき傷、摩耗、クラック、腐食、変形等の欠陥のうち、機器の健全性に影響を及ぼすもの）がないこと。	良*

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認
~~品質記録（名称、日付）~~：

外観検査記録

検査年月日：令和3年 11 月 19 日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
66号機	中性子遮へい材（円筒部トランニオン周辺部 /周辺部以外、底部、蓋部）	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和2年 12月 21日, 令和3年 5月 20日,

令和3年 6月 7日,

外観検査記録

検査年月日: 令和3年 12月 24日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲 : 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	名称	判定基準	結果
64号機	胴 底板 一次蓋 二次蓋 外筒 バスケット 中性子遮へい材カバー (底部、蓋部)	有害な欠陥 (表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の) がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 8月 31日, 令和3年10月11日

外観検査記録

検査年月日：令和3年12月24日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
66号機	胴 底板 一次蓋 二次蓋 外筒 バスケット 中性子遮へい材カバー（底部、蓋部）	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年9月21日、令和3年11月1日。

外観検査記録

検査年月日：令和4年3月4日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
67号機	中性子遮へい材 円筒部 トランニオン周辺部 トランニオン周辺部以外 底部 蓋部	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

~~※は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年3月22日、令和3年5月20日

令和3年7月13日

外観検査記録

検査年月日: 令和4年 3月 4日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲 : 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	名称	判定基準	結果
68号機	中性子遮へい材 円筒部 トランニオン周辺部 トランニオン周辺部以外 底部 蓋部	有害な欠陥 (表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の) がないこと。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 5月 20日、令和3年 5月 25日

令和3年 10月 13日

外観検査記録

検査年月日：令和4年3月29日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
69号機	蓋部 中性子遮へい材	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年5月20日

外観検査記録

検査年月日：令和4年 3月 29日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
70号機	蓋部 中性子遮へい材	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年 5月 18日

外観検査記録

検査年月日：令和4年 4月 18日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
67号機	胴 底板 一次蓋 バスケット 二次蓋 外筒 中性子遮へい材カバー 底部 中性子遮へい材カバー 蓋部	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年 10月 13日、令和3年 11月 2日

令和3年 12月 20日

外観検査記録

検査年月日：令和4年 4月 18日

検査場所： XXXXXXXXXX

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
68号機	胴 底板 一次蓋 バスケット 二次蓋 外筒 中性子遮へい材カバー 底部 中性子遮へい材カバー 蓋部	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年 10月27日、令和3年 11月24日

令和4年 1月24日

外観検査記録

検査年月日: 令和4年 8月 26日

検査場所: [REDACTED]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	名称	判定基準	結果
69号機	胴 底板 外筒 中性子遮へい材カバー 底部 中性子遮へい材 円筒部 トラニオン周辺部以外 中性子遮へい材 円筒部 トラニオン周辺部 中性子遮へい材 底部	有害な欠陥 (表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の) がないこと。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は:~~ 申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和3年 6月 11日
 令和3年 10月 13日
 令和3年 12月 15日

外観検査記録

検査年月日: 令和4年 8月26日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	名称	判定基準	結果
70号機	胴 底板 外筒 中性子遮へい材カバー 底部 中性子遮へい材 円筒部 トラニオン周辺部以外 中性子遮へい材 円筒部 トラニオン周辺部 中性子遮へい材 底部	有害な欠陥 (表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の) がないこと。	良

備考

~~*は守会を示す。それ以外は、~~ 申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和3年 7月 2日
 令和3年 11月 17日
 令和4年 2月 1日

外観検査記録

検査年月日: 令和4年 8月 26日

検査場所: [REDACTED]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	名称	判定基準	結果
71号機	胴 底板 外筒 中性子遮へん材カバー 底部 中性子遮へん材 円筒部 トライオン周辺部以外 中性子遮へん材 円筒部 トライオン周辺部 中性子遮へん材 底部	有害な欠陥 (表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の) がないこと。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は~~ 申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和3年 7月 2日
 令和3年 11月 17日
 令和4年 2月 22日

外観検査記録

検査年月日 令和4年 8 月 26 日

検査場所 : XXXXXXXXXX

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲 : 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	名称	判定基準	結果
72号機	胴 底板 外筒 中性子遮へん材カバー 底部 中性子遮へん材 円筒部 トラコオン周辺部以外 中性子遮へん材 円筒部 トラコオン周辺部 中性子遮へん材 底部	有害な欠陥 (表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の) がないこと。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は~~ 申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 9月30日

令和3年 12月10日

令和4年 3月14日

外観検査記録

検査年月日：令和4年9月15日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
69号機	一次蓋 バスケット 二次蓋 中性子遮へい材カバー 蓋部	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年12月15日、令和4年2月22日。

外観検査記録

検査年月日：令和4年 9月15日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
70号機	一次蓋 バスケット 二次蓋 中性子遮へい材カバー 蓋部	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和4年 2月 1日、令和4年4月5日

外観検査記録

検査年月日: 令和4年 9月 15日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	名称	判定基準	結果
71号機	一次蓋 バスケット 二次蓋 中性子遮へい材カバー 蓋部 中性子遮へい材 蓋部	有害な欠陥 (表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の) がないこと。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 5月 18日、令和4年2月22日、令和4年4月8日

外観検査記録

検査年月日：令和4年9月15日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	名称	判定基準	結果
72号機	一次蓋 バスケット 二次蓋 中性子遮へい材カバー 蓋部 中性子遮へい材 蓋部	有害な欠陥（表面かき傷、 摩耗、クラック、腐食、変 形等の欠陥のうち、機器の 健全性に影響を及ぼすも の）がないこと。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年11月12日、令和4年3月14日、令和4年5月19日

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和2年 9 月 30 日

検査場所： XXXXXXXXXX

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：組立前

機器番号	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
67号機	1.0	1.30	14	良*

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認
品質記録（名称、目付）：

~~記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。~~

☐：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和3年3月11日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：組立前

機器番号	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
60号機	1.0	1.30	13	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和2年3月19日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和3年3月11日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：組立前

機器番号	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
61号機	1.0	1.30	14	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和2年3月31日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和3年4月8日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：組立前

機器番号	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
62号機	1.0	1.30	12	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和2年5月28日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和3年4月8日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：組立前

機器番号	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
63号機	1.0	1.30	13	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和2年6月18日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和3年4月8日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：組立前

機器番号	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
64号機	1.0	1.27	11	良
65号機		1.30	13	
66号機		1.30	13	
68号機		1.30	12	
69号機		1.30	13	
70号機		1.30	13	
71号機		1.30	12	

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和2年7月6日、8月17日、9月1日

令和3年1月20日、3月15日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和4年10月25日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：組立前

機器番号	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
72号機	1.0	1.30	12	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年7月15日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和3年 9月 15日

検査場所： XXXXXXXXXX

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：容器完成後

機器番号	加圧方法	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
60号機	カバープレート (ドレン) より加圧	1.0	1.30	12	良
	カバープレート (ベント) より加圧		1.30	14	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付)：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 4月 19日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和3年9月15日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：容器完成後

機器番号	加圧方法	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
61号機	カバープレート (ドレン)より 加圧	1.0	1.30	15	良
	カバープレート (ベント)より 加圧		1.30	13	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年5月18日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和3年 9 月 28日
29日

検査場所： XXXXXXXXXX

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：容器完成後

機器番号	加圧方法	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
65号機	カバープレート (ドレン) より 加圧	1.0	1.30	11	良*
	カバープレート (ベント) より 加圧		1.30	12	良*

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

*は立会を示す。~~それ以外は、申請者の品質記録により確認
品質記録（名称、目付）~~

~~記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。~~

~~目：確認~~

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日: 令和3年11月18日検査場所: XXXXXXXXXX

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

検査時における容器の状態: 容器完成後

機器番号	加圧方法	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
62号機	カバープレート (ドレン) より 加圧	1.0	1.30	14	良
	カバープレート (ベント) より 加圧		1.30	15	良

判定基準

耐圧検査 : 検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査: 耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法: 水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

2021年 6月 8日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

 : 確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和3年 11月 18日

検査場所： XXXXXXXXXX

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：容器完成後

機器番号	加圧方法	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
63号機	カバープレート (ドレン)より 加圧	1.0	1.30	13	良
	カバープレート (ベント)より 加圧		1.30	11	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

2021年 6月 29日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑: 確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和3年12月24日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：容器完成後

機器番号	加圧方法	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
64号機	カバープレート (ドレン) より 加圧	1.0	1.30	14	良
	カバープレート (ベント) より 加圧		1.30	12	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年 8月 20日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和3年12月24日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：容器完成後

機器番号	加圧方法	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
66号機	カバープレート (ドレン) より 加圧	1.0	1.30	11	良
	カバープレート (ベント) より 加圧		1.30	12	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年9月8日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和4年 4月 18日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：容器完成後

機器番号	加圧方法	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
67号機	カバープレート (ドレン) より 加圧	1.0	1.30	12	良
	カバープレート (ベント) より 加圧		1.30	11	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年 10月 20日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和4年4月18日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：容器完成後

機器番号	加圧方法	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
68号機	カバープレート (ドレン) より 加圧	1.0	1.30	12	良
	カバープレート (ベント) より 加圧		1.30	11	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年11月9日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和4年10月25日

検査場所： XXXXXXXXXX

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：容器完成後

機器番号	加圧方法	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
69号機	カバープレート (ドレン) より加圧	1.0	1.30	12	良
	カバープレート (ベント) より加圧		1.30	11	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。
漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付)：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年11月30日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日: 令和4年 10月 25日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

検査時における容器の状態: 容器完成後

機器番号	加圧方法	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
70号機	カバープレート (ドレン) より加圧	1.0	1.30	12	良
	カバープレート (ベント) より加圧		1.30	13	良

判定基準

耐圧検査 : 検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査: 耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法: 水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 1月 13日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和4年10月25日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：容器完成後

機器番号	加圧方法	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
71号機	カバープレート (ドレン) より 加圧	1.0	1.30	12	良
	カバープレート (ベント) より 加圧		1.30	16	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和4年2月9日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：令和4年 10月 25日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

検査時における容器の状態：容器完成後

機器番号	加圧方法	最高使用圧力 (MPa)	検査圧力 (MPa)	保持時間 (分)	結果
72号機	カバープレート (ドレン) より 加圧	1.0	1.30	12	良
	カバープレート (ベント) より 加圧		1.30	11	良

判定基準

耐圧検査：検査圧力に耐え、変形等の異常のないこと。

漏えい検査：耐圧部から漏えいがないこと。

備考

耐圧検査、漏えい検査の方法：水圧

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和4年 3月 3日

記録確認分については使用した検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

機能検査（伝熱検査）記録

検査年月日：令和3年12月24日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号：60号機

検査範囲	測定温度 (℃)	補正温度* (℃)	判定基準	結果
胴内面	83.1	97.4	周囲温度を補正した温度が最高使用温度以下であること。 最高使用温度 胴内面：150℃ バスケット：260℃	良
バスケット	170.0	183.3		良

備考

※ 補正温度は環境温度を45℃とする以下の補正式による。

$$\text{補正温度} = (\text{測定温度} - \text{測定環境温度}) \times \frac{\text{規定発熱量}}{\text{計測発熱量}} + 45^\circ\text{C}$$

測定環境温度：30.0℃

計測発熱量：15.49 kW

規定発熱量：15.3 kW

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年7月28日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑：確認

機能検査 (伝熱検査) 記録

検査年月日: 令和3年12月24日検査場所: XXXXXXXXXX設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)機器番号: 61号機

検査範囲	測定温度 (°C)	補正温度* (°C)	判定基準	結果
胴内面	82.0	98.9	周囲温度を補正した温度が最高使用温度以下であること。 最高使用温度 胴内面: 150°C バスケット: 260°C	良
バスケット	164.1	179.9		良

備考

※ 補正温度は環境温度を4.5°Cとする以下の補正式による。

$$\text{補正温度} = (\text{測定温度} - \text{測定環境温度}) \times \frac{\text{規定発熱量}}{\text{計測発熱量}} + 4.5^\circ\text{C}$$

測定環境温度: 27.3 °C計測発熱量: 15.52 kW規定発熱量: 15.3 kW

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備使用前検査成績書 (社内検査)設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)令和3年8月25日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (伝熱検査) 記録

検査年月日: 令和3年 12月 24日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 62号機

検査範囲	測定温度 (°C)	補正温度* (°C)	判定基準	結果
胴内面	80.0	100.2	周囲温度を補正した温度が最高使用温度以下であること。 最高使用温度 胴内面: 150°C バスケット: 260°C	良
バスケット	168.2	187.2		良

備考

※ 補正温度は環境温度を45°Cとする以下の補正式による。

$$\text{補正温度} = (\text{測定温度} - \text{測定環境温度}) \times \frac{\text{規定発熱量}}{\text{計測発熱量}} + 45^\circ\text{C}$$

測定環境温度: 24.1 °C

計測発熱量: 15.50 kW

規定発熱量: 15.3 kW

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 9月 21日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査(伝熱検査)記録

検査年月日: 令和3年 12月 24日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク(輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 63号機

検査範囲	測定温度 (℃)	補正温度* (℃)	判定基準	結果
胴内面	79.7	99.8	周囲温度を補正した温度が最高使用温度以下であること。 最高使用温度 胴内面: 150℃ バスケット: 260℃	良
バスケット	161.4	180.3		良

備考

※ 補正温度は環境温度を45℃とする以下の補正式による。

$$\text{補正温度} = (\text{測定温度} - \text{測定環境温度}) \times \frac{\text{規定発熱量}}{\text{計測発熱量}} + 45^\circ\text{C}$$

測定環境温度: 24.0 ℃

計測発熱量: 15.54 kW

規定発熱量: 15.3 kW

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録(名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書(社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク(輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 10月 11日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査（伝熱検査）記録

検査年月日：令和3年12月24日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号：64号機

検査範囲	測定温度 (℃)	補正温度* (℃)	判定基準	結果
胴内面	75.2	102.0	周囲温度を補正した温度が最高使用温度以下であること。 最高使用温度 胴内面：150℃ バスケット：260℃	良
バスケット	166.5	192.0		良

備考

※ 補正温度は環境温度を45℃とする以下の補正式による。

$$\text{補正温度} = (\text{測定温度} - \text{測定環境温度}) \times \frac{\text{規定発熱量}}{\text{計測発熱量}} + 45^\circ\text{C}$$

測定環境温度：17.3℃

計測発熱量：15.53 kW

規定発熱量：15.3 kW

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年11月19日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑：確認

機能検査 (伝熱検査) 記録

検査年月日: 令和3年 12月 23日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲 : 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号 : 65号機

検査範囲	測定温度 (°C)	補正温度* (°C)	判定基準	結果
胴内面	68.6	101.2	周囲温度を補正した温度が最高使用温度以下であること。 最高使用温度 胴内面 : 150°C バスケット : 260°C	良*
バスケット	158.7	189.7		良*

備考

※ 補正温度は環境温度を45°Cとする以下の補正式による。

$$\text{補正温度} = (\text{測定温度} - \text{測定環境温度}) \times \frac{\text{規定発熱量}}{\text{計測発熱量}} + 45^\circ\text{C}$$

測定環境温度 : 11.4 °C

計測発熱量 : 15.58 kW

規定発熱量 : 15.3 kW

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認品質記録 (名称、日付) 。

~~記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。~~

: 確認

機能検査 (伝熱検査) 記録

検査年月日: 令和3年 12月 24日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 66号機

検査範囲	測定温度 (°C)	補正温度* (°C)	判定基準	結果
胴内面	72.5	101.3	周囲温度を補正した温度が最高使用温度以下であること。 最高使用温度 胴内面: 150°C バスケット: 260°C	良
バスケット	157.3	184.7		良

備考

* 補正温度は環境温度を45°Cとする以下の補正式による。

$$\text{補正温度} = (\text{測定温度} - \text{測定環境温度}) \times \frac{\text{規定発熱量}}{\text{計測発熱量}} + 45^\circ\text{C}$$

測定環境温度: 15.2 °C

計測発熱量: 15.56 kW

規定発熱量: 15.3 kW

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 11月 19日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (伝熱検査) 記録

検査年月日: 令和4年 4月 18日検査場所: XXXXXXXXXX設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)機器番号: 67号機

検査範囲	測定温度 (°C)	補正温度* (°C)	判定基準	結果
胴内面	64.4	101.1	周囲温度を補正した温度が最高使用温度以下であること。 最高使用温度 胴内面: 150°C バスケット: 260°C	良
バスケット	149.2	184.3		良

備考

※ 補正温度は環境温度を4.5°Cとする以下の補正式による。

$$\text{補正温度} = (\text{測定温度} - \text{測定環境温度}) \times \frac{\text{規定発熱量}}{\text{計測発熱量}} + 4.5^\circ\text{C}$$

測定環境温度: 7.2 °C計測発熱量: 15.60 kW規定発熱量: 15.3 kW~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備使用前検査成績書 (社内検査)設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)令和4年 1月 24日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (伝熱検査) 記録

検査年月日: 令和4年 4月 18日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 68号機

検査範囲	測定温度 (°C)	補正温度* (°C)	判定基準	結果
胴内面	64.1	101.9	周囲温度を補正した温度が最高使用温度以下であること。 最高使用温度 胴内面: 150°C バスケット: 260°C	良
バスケット	154.8	190.9		良

備考

※ 補正温度は環境温度を 4.5°C とする以下の補正式による。

$$\text{補正温度} = (\text{測定温度} - \text{測定環境温度}) \times \frac{\text{規定発熱量}}{\text{計測発熱量}} + 4.5^\circ\text{C}$$

測定環境温度: 6.2 °C

計測発熱量: 15.58 kW

規定発熱量: 15.3 kW

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 2月 14日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (伝熱検査) 記録

検査年月日: 令和4年10月25日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 69号機

検査範囲	測定温度 (°C)	補正温度* (°C)	判定基準	結果
胴内面	69.8	99.9	周囲温度を補正した温度が最高使用温度以下であること。	良
バスケット	153.4	182.0	最高使用温度 胴内面: 150°C バスケット: 260°C	良

備考

※ 補正温度は環境温度を45°Cとする以下の補正式による。

$$\text{補正温度} = (\text{測定温度} - \text{測定環境温度}) \times \frac{\text{規定発熱量}}{\text{計測発熱量}} + 45^\circ\text{C}$$

測定環境温度: 13.9 °C

計測発熱量: 15.58 kW

規定発熱量: 15.3 kW

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年3月30日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (伝熱検査) 記録

検査年月日: 令和4年10月25日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 70号機

検査範囲	測定温度 (°C)	補正温度* (°C)	判定基準	結果
胴内面	68.9	100.5	周囲温度を補正した温度が最高使用温度以下であること。	良
バスケット	160.1	190.1	最高使用温度 胴内面: 150°C バスケット: 260°C	良

備考

※ 補正温度は環境温度を45°Cとする以下の補正式による。

$$\text{補正温度} = (\text{測定温度} - \text{測定環境温度}) \times \frac{\text{規定発熱量}}{\text{計測発熱量}} + 45^\circ\text{C}$$

測定環境温度: 12.5 °C

計測発熱量: 15.56 kW

規定発熱量: 15.3 kW

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年4月27日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (伝熱検査) 記録

検査年月日: 令和4年10月25日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 71号機

検査範囲	測定温度 (°C)	補正温度* (°C)	判定基準	結果
胴内面	79.2	101.8	周囲温度を補正した温度が最高使用温度以下であること。	良
バスケット	162.6	183.6	最高使用温度 胴内面: 150°C バスケット: 260°C	良

備考

※ 補正温度は環境温度を45°Cとする以下の補正式による。

$$\text{補正温度} = (\text{測定温度} - \text{測定環境温度}) \times \frac{\text{規定発熱量}}{\text{計測発熱量}} + 45^\circ\text{C}$$

測定環境温度: 21.3 °C

計測発熱量: 15.60 kW

規定発熱量: 15.3 kW

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年5月30日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (伝熱検査) 記録

検査年月日: 令和4年10月25日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 72号機

検査範囲	測定温度 (℃)	補正温度* (℃)	判定基準	結果
胴内面	76.0	99.5	周囲温度を補正した温度が最高使用温度以下であること。	良
バスケット	167.5	189.8	最高使用温度 胴内面: 150℃ バスケット: 260℃	良

備考

※ 補正温度は環境温度を45℃とする以下の補正式による。

$$\text{補正温度} = (\text{測定温度} - \text{測定環境温度}) \times \frac{\text{規定発熱量}}{\text{計測発熱量}} + 45^\circ\text{C}$$

測定環境温度: 20.8 °C

計測発熱量: 15.50 kW

規定発熱量: 15.3 kW

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 8 月 3 日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 2月 16日検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 60号機

検査時期: 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	5.3×10^{-12}	2.0×10^{-9}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	1.4×10^{-9}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	5.2×10^{-9}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 10月 28日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

 : 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 2月 16日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 61号機

検査時期: 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	3.2×10^{-12}	4.2×10^{-7}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	2.2×10^{-7}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	2.0×10^{-7}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 11月 17日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 2月 16日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 62号機

検査時期: 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	1.1×10^{-10}	2.9×10^{-8}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	5.2×10^{-9}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	2.3×10^{-8}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 12月 2日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年2月16日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 63号機

検査時期: 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	4.0×10^{-11}	4.8×10^{-7}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	4.4×10^{-7}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	3.2×10^{-8}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年1月17日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 4月 18日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 64号機

検査時期: 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	4.7×10^{-11}	2.9×10^{-7}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	1.6×10^{-7}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	1.3×10^{-7}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 2月 14日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 4月 18日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 65号機

検査時期: 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	6.2×10^{-11}	3.8×10^{-7}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	2.1×10^{-7}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	1.7×10^{-7}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 3月 28日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

 : 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 4月 18日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 66号機

検査時期: 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	6.2×10^{-12}	5.8×10^{-7}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	3.3×10^{-7}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	2.5×10^{-7}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 2月 22日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 4月 18日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 67号機

検査時期: 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	5.2×10^{-11}	6.6×10^{-7}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	3.2×10^{-7}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	3.4×10^{-7}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 3月 30日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 4月 20日 19日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 68号機

検査時期: 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	8.3×10^{-12}	9.1×10^{-7}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	5.1×10^{-7}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	4.0×10^{-7}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認
品質記録 (名称、日付) :-

~~記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。~~

:- 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 4月 20日 19日

検査場所: [REDACTED]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 68号機

検査時期: 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	8.3×10^{-12}	9.1×10^{-7}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良*
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	5.1×10^{-7}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	4.0×10^{-7}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認
品質記録 (名称、日付) 〃

~~記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。~~

〃 確認

※ 令和4年4月27日、検査結果欄に「良」と追記
福富

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 10月25日検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 69号機

検査時期: 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	7.4×10^{-11}	1.9×10^{-8}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	1.8×10^{-9}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	1.7×10^{-8}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 6月14日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

 : 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 10月 25日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 70号機

検査時期: 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	7.1×10^{-12}	2.5×10^{-7}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	7.6×10^{-8}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	1.7×10^{-7}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 6月 14日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

 : 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 10月 25日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 71号機

検査時期: 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	9.0 × 10 ⁻¹¹	3.5 × 10 ⁻⁷	合計漏えい率が 1.6 × 10 ⁻⁶ Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	2.0 × 10 ⁻⁷			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	1.5 × 10 ⁻⁷			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和4年 7月 15日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 10月 25日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲 : 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号 : 72号機

検査時期 : 使用済燃料収納前

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	3.2×10^{-12}	4.1×10^{-7}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	3.1×10^{-7}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	9.8×10^{-8}			

備考:

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 9月 14日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 7 月 12 日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 63号機

検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	9.0 × 10 ⁻⁷	1.34 × 10 ⁻⁶	合計漏えい率が 1.6 × 10 ⁻⁶ Pa・m ³ /s 以下であること。	* 良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	1.4 × 10 ⁻⁷			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	3.0 × 10 ⁻⁷			

備考

*は立会を示す。~~それ以外は、申請者の品質記録により確認
品質記録 (名称、日付) による。~~

~~記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。~~

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和4年 11月24日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 60号機

検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	1.1 × 10 ⁻⁶	1.18 × 10 ⁻⁶	合計漏えい率が 1.6 × 10 ⁻⁶ Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	1.4 × 10 ⁻⁸			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	6.0 × 10 ⁻⁸			

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 11月 11日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和5年 3月 9日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 61号機

検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	2.1 × 10 ⁻⁸	3.1 × 10 ⁻⁷	合計漏えい率が 1.6 × 10 ⁻⁶ Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	4.8 × 10 ⁻⁸			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	2.4 × 10 ⁻⁷			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和5年 1月 30日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和5年 5月16日検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)機器番号: 62号機検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	1.1 × 10 ⁻⁹	3.42 × 10 ⁻⁷	合計漏えい率が 1.6 × 10 ⁻⁶ Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	1.5 × 10 ⁻⁷			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	1.9 × 10 ⁻⁷			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備使用前検査成績書 (社内検査)設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)令和5年 5月 8 日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

 : 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和5年 5月31日検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)機器番号: 64号機検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	8.0 × 10 ⁻⁷	8.99 × 10 ⁻⁷	合計漏えい率が 1.6 × 10 ⁻⁶ Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	6.6 × 10 ⁻⁸			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	3.3 × 10 ⁻⁸			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備使用前検査成績書 (社内検査)設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)令和5年 5月16日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和5年 6月 19日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 65号機

検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	7.5 × 10 ⁻⁷	8.36 × 10 ⁻⁷	合計漏えい率が 1.6 × 10 ⁻⁶ Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	4.3 × 10 ⁻⁸			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	4.3 × 10 ⁻⁸			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和5年 6月 1日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和5年 6月 23日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 66号機

検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	5.0×10^{-12}	1.07×10^{-7}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	4.3×10^{-8}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	6.4×10^{-8}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

2023年 6月 12日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和5年 7 月 18 日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 67号機

検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	3.7×10 ⁻¹⁰	2.51×10 ⁻⁷	合計漏えい率が 1.6×10 ⁻⁶ Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	1.2×10 ⁻⁷			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	1.3×10 ⁻⁷			

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和5年 6 月 26 日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和5年 7月 20日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 68号機

検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	8.5 × 10 ⁻⁷	9.35 × 10 ⁻⁷	合計漏えい率が 1.6 × 10 ⁻⁶ Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	5.3 × 10 ⁻⁸			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	3.2 × 10 ⁻⁸			

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和5年 7月 10日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和5年 8月 10日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 69号機

検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	2.9×10^{-10}	7.21×10^{-9}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	1.1×10^{-7}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	6.1×10^{-7}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和5年 7月 31日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和5年 8月 24日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 70号機

検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	3.0 × 10 ⁻¹⁰	3.33 × 10 ⁻⁷	合計漏えい率が 1.6 × 10 ⁻⁶ Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	3.2 × 10 ⁻⁸			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	3.0 × 10 ⁻⁷			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和5年 8月 10日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和5年 9月5日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 71号機

検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	8.5 × 10 ⁻¹⁰	2.73 × 10 ⁻⁷	合計漏えい率が 1.6 × 10 ⁻⁶ Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	2.3 × 10 ⁻⁷			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	4.2 × 10 ⁻⁸			

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和5年 8月 28日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和5年 10月 4日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 72号機

検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	7.0 × 10 ⁻⁷	8.16 × 10 ⁻⁷	合計漏えい率が 1.6 × 10 ⁻⁶ Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	7.4 × 10 ⁻⁸			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	4.2 × 10 ⁻⁸			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和5年 9月 25日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑: 確認

機能検査 (気密漏えい検査) 記録

検査年月日: 令和5年11月20日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 70号機

検査時期: 使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	3.0×10^{-10}	3.33×10^{-7}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	3.2×10^{-8}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	3.0×10^{-7}			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

2023年 11月 20日

当該検査は令和5年8月24日に実施したが、申請者の品質記録に記載されている計測器の誤りにより申請者が改めて検査を実施したことから再度検査を実施した。

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

 : 確認

機能検査（気密漏えい検査）記録

検査年月日：令和5年11月20日

検査場所：東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号：71号機

検査時期：使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	8.5×10^{-10}	2.73×10^{-7}	合計漏えい率が 1.6×10^{-6} Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	2.3×10^{-7}			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	4.2×10^{-8}			

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

2023年11月20日

当該検査は令和5年9月5日に実施したが、申請者の品質記録に記載されている計測器の誤りにより申請者が改めて検査を実施したことから再度検査を実施した。

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

：確認

*1: 追記 令和5年11月22日 須貝

機能検査（気密漏えい検査）記録

検査年月日：令和5年11月20日

検査場所：東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号：72号機

検査時期：使用済燃料収納後

検査範囲	計測値 (Pa・m ³ /s)	合計漏えい率 (Pa・m ³ /s)	判定基準	結果
一次蓋金属ガスケット部	7.0×10 ⁻⁷	8.16×10 ⁻⁷	合計漏えい率が 1.6×10 ⁻⁶ Pa・m ³ /s 以下であること。	良
一次蓋ベント用カバープレート 金属ガスケット部	17.4×10 ⁻⁸			
一次蓋ドレン用カバープレート 金属ガスケット部	4.2×10 ⁻⁸			

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

2023年11月20日

当該検査は令和5年10月4日に実施したが、申請者の品質記録に記載されている計測器の誤りにより申請者が改めて検査を実施したことから再度検査を実施した。

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑：確認

*1:追記令和5年11月22日須貝

機能検査（未臨界検査）記録

検査年月日：令和3年9月15日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号：60号機

検査範囲		実施計画 記載値※ ¹ (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	判定基準	結果
バスケット	材料	/		/	設計の材料特性（化学的性質、機械的性質）※ ² に適合すること。	良
	寸法	内幅	[REDACTED]		寸法（バスケットの内幅及びプレート厚さ）が許容範囲内であること。	良
		プレート厚さ	[REDACTED]			
外観	/		/	/	有意な変形、破損等の異常がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年6月14日

※1：（ ）は公称値を示す。

※2：設計の材料特性（化学的性質、機械的性質）は、日本機械学会 事例規格「バスケット用ボロン添加ステンレス鋼板 B-SUS304P-1 に関する規定」（JSME S FA-CC-004-1）を参照。

機能検査 (未臨界検査) 記録

検査年月日: 令和3年9月15日

検査場所: [REDACTED]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 61号機

検査範囲		実施計画 記載値※ ¹ (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	判定基準	結果
バスケット	材料	/		/	設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質) ※ ² に適合すること。	良
	寸法	内幅	[REDACTED]		寸法 (バスケットの内幅及びプレート厚さ) が許容範囲内であること。	良
		プレート厚さ	[REDACTED]			
外観	/		/	/	有意な変形、破損等の異常がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年7月6日

※1: () は公称値を示す。

※2: 設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質) は、日本機械学会 事例規格「バスケット用ボロン添加ステンレス鋼板 B-SUS304P-1 に関する規定」(JSME S FA-CC-004-1) を参照。

機能検査 (未臨界検査) 記録

検査年月日: 令和3年 11月 19日

検査場所: [Redacted]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 62号機

検査範囲		実施計画 記載値*1 (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	判定基準	結果
バスケット	材料	/			設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質)*2に適合すること。	良
	寸法	内幅	[Redacted]		寸法 (バスケットの内幅及びプレート厚さ) が許容範囲内であること。	良
		プレート厚さ	[Redacted]			
外観	/			有意な変形、破損等の異常がないこと。	良	

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 9月 10日

[Redacted]

※1 : () は公称値を示す。

※2 : 設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質) は、日本機械学会 事例規格「バスケット用ポロン添加ステンレス鋼板 B-SUS304P-1 に関する規定」(JSME S FA-CC-004-1) を参照。

機能検査 (未臨界検査) 記録

検査年月日: 令和3年11月19日

検査場所: 

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 63号機

検査範囲		実施計画 記載値※1 (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	判定基準	結果
バスケット	材料				設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質)※2に適合すること。	良
	寸法				内幅	
		プレート厚さ				
	外観				有意な変形、破損等の異常がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)


令和3年 9月27日



※1: () は公称値を示す。

※2: 設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質) は、日本機械学会 事例規格「バスケット用ボロン添加ステンレス鋼板 B-SUS304P-1 に関する規定」(JSME S FA-CC-004-1) を参照。

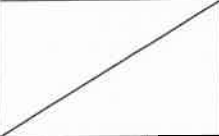
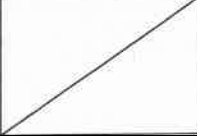
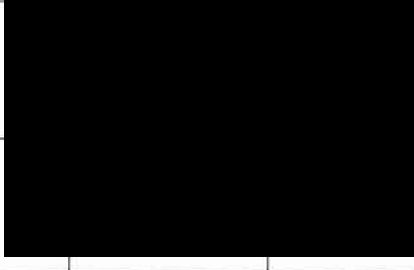
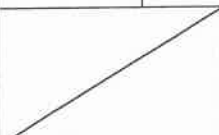
機能検査 (未臨界検査) 記録

検査年月日: 令和3年12月24日検査場所: 

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 66号機

検査範囲		実施計画 記載値※ ¹ (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	判定基準	結果
バスケット	材料				設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質)※ ² に適合すること。	良
	寸法				内幅	
	外観	プレート厚さ			有意な変形、破損等の異常がないこと。	

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 // 月 // 日

※1: () は公称値を示す。

※2: 設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質) は、日本機械学会 事例規格「バスケット用ポロン添加ステンレス鋼板 B-SUS304P-1 に関する規定」(JSME S FA-CC-004-1) を参照。

機能検査 (未臨界検査) 記録

検査年月日: 令和4年 4月 18日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスク B)

機器番号: 68号機

検査範囲		実施計画 記載値 ^{※1} (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	判定基準	結果
バスケット	材料	/		/	設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質) ^{※2} に適合すること。	良
	寸法	内幅			寸法 (バスケットの内幅及びプレート厚さ) が許容範囲内であること。	良
		プレート厚さ				
外観	/		/	/	有意な変形、破損等の異常がないこと。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

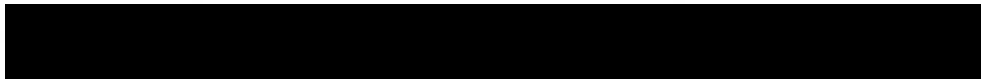
品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスク B)

令和4年 1月 24日



※1: () は公称値を示す。

※2: 設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質) は、日本機械学会 事例規格「バスケット用ボロン添加ステンレス鋼板 B-SUS304P-1 に関する規定」(JSME S FA-CC-004-1) を参照。

機能検査 (未臨界検査) 記録

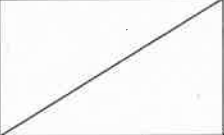
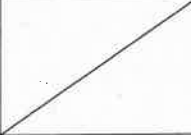

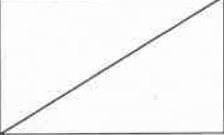
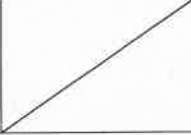

検査年月日: 令和4年 9 月 16 日

検査場所: 

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

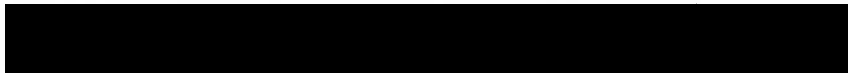
検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 69号機

検査範囲		実施計画 記載値※1 (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	判定基準	結果		
バスケット	材料				設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質)※2に適合すること。	良		
	寸法				内幅		寸法 (バスケットの内幅及びプレート厚さ) が許容範囲内であること。	良
					プレート厚さ			
外観					有意な変形、破損等の異常がないこと。	良		

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和4年 2月22日




※1 : () は公称値を示す。

※2 : 設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質) は、日本機械学会 事例規格「バスケット用ボロン添加ステンレス鋼板 B-SUS304P-1 に関する規定」(JSME S FA-CC-004-1) を参照。

機能検査 (未臨界検査) 記録

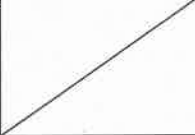
検査年月日: 令和4年 9月 16日

検査場所: 

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 71号機

検査範囲		実施計画 記載値※1 (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	判定基準	結果				
バスケット	材料					設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質)※2に適合すること。	良			
	寸法					内幅			寸法 (バスケットの内幅及びプレート厚さ) が許容範囲内であること。	良
						プレート厚さ				
外観					有意な変形、破損等の異常がないこと。	良				

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和4年 4月 8日



※1: () は公称値を示す。

※2: 設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質) は、日本機械学会 事例規格「バスケット用ボロン添加ステンレス鋼板 B-SUS304P-1 に関する規定」(JSME S FA-CC-004-1) を参照。

機能検査 (未臨界検査) 記録

検査年月日: 令和4年 9月16日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 72号機

検査範囲		実施計画 記載値※1 (mm)	許容寸法 (mm)	計測値 (mm)	判定基準	結果
バスケット	材料	/		/		設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質) ※2に適合すること。 良
	寸法	内幅			寸法 (バスケットの内幅及びプレート厚さ) が許容範囲内であること。 良	
		プレート厚さ				
外観	/		/		有意な変形、破損等の異常がないこと。 良	

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和4年 5月19日



※1 : () は公称値を示す。

※2 : 設計の材料特性 (化学的性質、機械的性質) は、日本機械学会 事例規格「バスケット用ボロン添加ステンレス鋼板 B-SUS304P-1 に関する規定」(JSME S FA-CC-004-1) を参照。

機能検査 (吊上荷重検査) 記録

検査年月日: 令和4年 2月 16日

検査場所: [REDACTED]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 60号機

検査範囲		検査条件		判定基準	結果
		検査荷重(t)	保持時間(分)		
上部トラニオン	0°	249.7	6	トラニオンの外観に有害な変形がないこと。	良
	180°				
	90°	245.3	6		良
	270°				
下部トラニオン	90°	245.6	6	良	
	270°				

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 12月 6日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (吊上荷重検査) 記録

検査年月日: 令和4年 2月 16日

検査場所: [REDACTED]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 61号機

検査範囲		検査条件		判定基準	結果
		検査荷重(t)	保持時間(分)		
上部トラニオン	0°	246.1	6	トラニオンの外観に有害な変形がないこと。	良
	180°				
	90°	246.2	6		良
	270°				
下部トラニオン	90°	245.4	6	良	
	270°				

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 2月 1日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (吊上荷重検査) 記録

検査年月日: 令和4年 2月 16日

検査場所: [REDACTED]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 62号機

検査範囲		検査条件		判定基準	結果
		検査荷重(t)	保持時間(分)		
上部トラニオン	0°	245.0	6	トラニオンの外観に有害な変形がないこと。	良
	180°				
	90°	245.2	6		良
	270°				
下部トラニオン	90°	244.9	6	良	
	270°				

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 2月 1日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (吊上荷重検査) 記録

検査年月日: 令和4年 2月 16日

検査場所: [REDACTED]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 63号機

検査範囲		検査条件		判定基準	結果
		検査荷重(t)	保持時間(分)		
上部トラニオン	0°	241.1	6	トラニオンの外観に有害な変形がないこと。	良
	180°				
	90°	243.2	6		良
	270°				
下部トラニオン	90°	246.1	6	良	
	270°				

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 2月 1日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (吊上荷重検査) 記録

検査年月日: 令和4年 3月 29日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 64号機

検査範囲		検査条件		判定基準	結果
		検査荷重(t)	保持時間(分)		
上部トラニオン	0°	243.5	6	トラニオンの外観に有害な変形がないこと。	良
	180°				
	90°	243.9	6		良
	270°				
下部トラニオン	90°	245.5	6	良	
	270°				

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備 ※
~~使用前検査成績書(社内検査)~~ 使用前検査成績書(社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク(輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年3月14日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

※ 令和4年3月31日修正
 福富

機能検査 (吊上荷重検査) 記録

検査年月日: 令和4年 3月29日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 65号機

検査範囲		検査条件		判定基準	結果
		検査荷重(t)	保持時間(分)		
上部トラニオン	0°	244.4	6	トラニオンの外観に有害な変形がないこと。	良*
	180°				
	90°	245.2	6		良*
	270°				
下部トラニオン	90°	245.2	6	良*	
	270°				

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認
品質記録 (名称、目付) :

~~記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。~~

: 確認

機能検査 (吊上荷重検査) 記録

検査年月日: 令和4年 3月 29日

検査場所: [Redacted]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 66号機

検査範囲		検査条件		判定基準	結果
		検査荷重(t)	保持時間(分)		
上部トラニオン	0°	243.7	6	トラニオンの外観に有害な変形がないこと。	良
	180°				
	90°	242.8	6		良
	270°				
下部トラニオン	90°	243.9	6	良	
	270°				

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
~~使用前検査成績書 (社内検査)~~ 使用前検査成績書 (社内検査) *

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年3月14日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

* 令和4年3月31日修正
 福富

機能検査 (吊上荷重検査) 記録

検査年月日: 令和4年 6月30日検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 67号機

検査範囲		検査条件		判定基準	結果
		検査荷重 (t)	保持時間 (分)		
上部トラニオン	0°	243.9	6	トラニオンの外観に有害な変形がないこと。	良
	180°				
	90°	243.1	6		良
	270°				
下部トラニオン	90°	244.4	6	良	
	270°				

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスク B)

令和4年 4月27日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (吊上荷重検査) 記録

検査年月日: 令和4年 6月30日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 68号機

検査範囲		検査条件		判定基準	結果
		検査荷重 (t)	保持時間 (分)		
上部トラニオン	0°	244.7	6	トラニオンの外観に有害な変形がないこと。	良
	180°				
	90°	242.0	6		良
	270°				
下部トラニオン	90°	245.0	6	良	
	270°				

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
使用前検査成績書 (社内検査)設備名: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスク B)
令和4年 6月28日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑: 確認

機能検査 (吊上荷重検査) 記録

検査年月日: 令和4年 10月 25日

検査場所: [REDACTED]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 69号機

検査範囲		検査条件		判定基準	結果
		検査荷重 (t)	保持時間 (分)		
上部トラニオン	0°	246.3	6	トラニオンの外観に有害な変形がないこと。	良
	180°				
	90°	245.0	6		良
	270°				
下部トラニオン	90°	245.1	6	良	
	270°				

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和4年 6月 28日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (吊上荷重検査) 記録

検査年月日: 令和4年 10月 25日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 70号機

検査範囲		検査条件		判定基準	結果
		検査荷重 (t)	保持時間 (分)		
上部トラニオン	0°	244.6	6	トラニオンの外観に有害な変形がないこと。	良
	180°				
	90°	246.9	6		良
	270°				
下部トラニオン	90°	243.2	6	良	
	270°				

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 8月 3日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (吊上荷重検査) 記録

検査年月日: 令和4年 10月 25日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 71号機

検査範囲		検査条件		判定基準	結果
		検査荷重 (t)	保持時間 (分)		
上部トラニオン	0°	246.6	6	トラニオンの外観に有害な変形がないこと。	良
	180°				
	90°	243.8	6		良
	270°				
下部トラニオン	90°	242.8	6	良	
	270°				

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
令和4年 8月 3日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (吊上荷重検査) 記録

検査年月日: 令和4年 10月 25日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号: 72号機

検査範囲		検査条件		判定基準	結果
		検査荷重 (t)	保持時間 (分)		
上部トラニオン	0°	243.9	6	トラニオンの外観に有害な変形がないこと。	良
	180°				
	90°	243.3	6		良
	270°				
下部トラニオン	90°	244.6	6	良	
	270°				

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
令和4年 9月 14日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (模擬燃料集合体挿入検査) 記録

検査年月日: 令和3年 9月 15日

検査場所: [REDACTED]

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	判定基準	結果
60号機	バスケットへの模擬燃料集合体の挿入、取出しが支障なく行えること。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 6月 14日

機能検査 (模擬燃料集合体挿入検査) 記録

検査年月日: 令和3年 9月 15日

検査場所 : XXXXXXXXXX

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	判定基準	結果
61号機	バスケットへの模擬燃料集合体の挿入、取出しが支障なく行えること。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 7月 6日

機能検査（模擬燃料集合体挿入検査）記録

検査年月日：令和3年11月19日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	判定基準	結果
62号機	バスケットへの模擬燃料集合体の挿入、取出しが支障なく行えること。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和3年9月10日

機能検査 (模擬燃料集合体挿入検査) 記録

検査年月日: 令和3年 11月 19日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	判定基準	結果
63号機	バスケットへの模擬燃料集合体の挿入、取出しが支障なく行えること。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 9月 27日

機能検査 (模擬燃料集合体挿入検査) 記録

検査年月日: 令和3 年 11 月 19 日検査場所: XXXXXXXXXX設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	判定基準	結果
65号機	バスケットへの模擬燃料集合体の挿入、取出しが支障なく行えること。	良*

備考

*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認品質記録 (名称、日付) :~~

機能検査 (模擬燃料集合体挿入検査) 記録

検査年月日: 令和3年 12月 24日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	判定基準	結果
64号機	バスケットへの模擬燃料集合体の挿入、取出しが支障なく行えること。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 10月 11日

機能検査 (模擬燃料集合体挿入検査) 記録

検査年月日: 令和3年 12月 24日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	判定基準	結果
66号機	バスケットへの模擬燃料集合体の挿入、取出しが支障なく行えること。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和3年 11月 1日

機能検査 (模擬燃料集合体挿入検査) 記録

検査年月日: 令和4年 4月 18日

検査場所: [REDACTED]

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲 : 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	判定基準	結果
67号機	バスケットへの模擬燃料集合体の挿入、取出しが支障なく行えること。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和3年 12月 20日

機能検査（模擬燃料集合体挿入検査）記録

検査年月日：令和4年 4月 18日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	判定基準	結果
68号機	バスケットへの模擬燃料集合体の挿入、取出しが支障なく行えること。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和4年 1月 24日

機能検査 (模擬燃料集合体挿入検査) 記録

検査年月日: 令和4年 9 月 16 日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	判定基準	結果
69号機	バスケットへの模擬燃料集合体の挿入、取出しが支障なく行えること。	良

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 令和4年 2 月 22 日

機能検査 (模擬燃料集合体挿入検査) 記録

検査年月日: 令和4年9月16日

検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	判定基準	結果
70号機	バスケットへの模擬燃料集合体の挿入、取出しが支障なく行えること。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年4月5日

機能検査 (模擬燃料集合体挿入検査) 記録

検査年月日: 令和4年 9月16日検査場所: XXXXXXXXXX

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	判定基準	結果
71号機	バスケットへの模擬燃料集合体の挿入、取出しが支障なく行えること。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
令和4年 4月 8日

機能検査（模擬燃料集合体挿入検査）記録

検査年月日：令和4年 9月16日

検査場所：[REDACTED]

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲：使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

機器番号	判定基準	結果
72号機	バスケットへの模擬燃料集合体の挿入、取出しが支障なく行えること。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録（名称、日付）：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書（社内検査）

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク（輸送貯蔵兼用キャスクB）

令和4年 5月19日

機能検査 (密封監視機能検査) 記録

検査年月日: 令和4年 4月 13日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	計器番号	設定値 (kPa abs)	許容範囲 (kPa abs)	動作値 (kPa abs)	警報		結果					
					表示名称	表示場所						
60号機	PE-U65-107E-1	250	[Redacted]	[Redacted]	蓋間圧力 異常	免重重要標 警報封箱 (H13-800)	良					
	PE-U65-107E-2											
61号機	PE-U65-107F-1						良					
	PE-U65-107F-2											
62号機	PE-U65-108E-1						良					
	PE-U65-108E-2											
63号機	PE-U65-106F-1						良*					
	PE-U65-106F-2											

判定基準: 許容範囲以内で警報及び表示灯が作動すること。

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

2022年 3月 28日、2022年 3月 29日 (監視装置)

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (密封監視機能検査) 記録

検査年月日: 令和5年 3月 9日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	計器番号	設定値 (kPa abs)	許容範囲 (kPa abs)	動作値 (kPa abs)	警報		結果					
					表示名称	表示場所						
64号機	PE-U65-108F-1	250	[Redacted]	[Redacted]	蓋間圧力異常	免震重要棟 警報表示箱 (H13-Boo1)	良					
	PE-U65-108F-2											
65号機	PE-U65-109E-1						良					
	PE-U65-109E-2											
66号機	PE-U65-109F-1						良					
	PE-U65-109F-2											
67号機	PE-U65-108C-1						良					
	PE-U65-108C-2											

判定基準: 許容範囲以内で警報及び表示灯が作動すること。

備考

*1
~~*は立会を示す。それ以外は~~ 申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 2022年 8月 3日、2022年 8月 10日 (監視装置)

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑: 確認

*1: 取り消し線追記 令和5年10月11日 山中

機能検査 (密封監視機能検査) 記録

検査年月日: 令和5年 6月23日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	計器番号	設定値 (kPa abs)	許容範囲 (kPa abs)	動作値 (kPa abs)	警報		結果
					表示名称	表示場所	
68号機	PE-U65-108D-1	250	[REDACTED]	[REDACTED]	蓋間圧力 異常	免震重電棟 警報表示箱 (H13-Boo1)	良
	PE-U65-108D-2						
69号機	PE-U65-107A-1						良
	PE-U65-107A-2						
70号機	PE-U65-107B-1						良
	PE-U65-107B-2						
71号機	PE-U65-108A-1						良
	PE-U65-108A-2						
72号機	PE-U65-108B-1						良
	PE-U65-108B-2						

判定基準: 許容範囲以内で警報及び表示灯が作動すること。

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 (監視装置)

2023年 5月 31日, 2023年 6月 1日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (密封監視機能検査) 記録

検査年月日: 令和5年 9 月 5 日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	計器番号	設定値 (kPa abs)	許容範囲 (kPa abs)	動作値 (kPa abs)	警報		結果
					表示名称	表示場所	
69号機	PE-U65-107A-1	250	[Redacted]	[Redacted]	乾式キャスク7A 蓋間圧力(A)低	免震重要棟 キャスク設備 監視端末	良
	PE-U65-107A-2				乾式キャスク7A 蓋間圧力(B)低		
70号機	PE-U65-107B-1				乾式キャスク7B 蓋間圧力(A)低		
	PE-U65-107B-2				乾式キャスク7B 蓋間圧力(B)低		
71号機	PE-U65-108A-1				乾式キャスク8A 蓋間圧力(A)低		
	PE-U65-108A-2				乾式キャスク8A 蓋間圧力(B)低		

判定基準: 許容範囲以内で警報及び表示灯が作動すること。

備考

~~*は立会を示す。それ以外は~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用前検査 (社内) 成績書
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 2023年 9 月 5 日

当該検査は令和5年6月23日に実施したが、監視装置の一部設備更新があったことから、更新された設備について再度確認を行った。

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

✓: 確認

機能検査 (密封監視機能検査) 記録

検査年月日: 令和5年 10月 4日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	計器番号	設定値 (kPa abs)	許容範囲 (kPa abs)	動作値 (kPa abs)	警報		結果		
					表示名称	表示場所			
72号機	PE-U65-108B-1	250	[Redacted]	[Redacted]	乾式キャスク8B 蓋間圧力(A)低	免震重要棟 キャスク設備 監視端末	良		
	PE-U65-108B-2				乾式キャスク8B 蓋間圧力(B)低				

判定基準: 許容範囲以内で警報及び表示灯が作動すること。

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、~~申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用前検査 (社内) 成績書
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 2023年 10月 3日

当該検査は令和5年6月23日に実施したが、監視装置の一部設備更新があったことから、更新された設備について再度確認を行った。

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑: 確認

機能検査 (密封監視機能検査) 記録

検査年月日: 令和5年 11 月 14 日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	計器番号	設定値 (kPa abs)	許容範囲 (kPa abs)	動作値 (kPa abs)	警報		結果	
					表示名称	表示場所		
63号機	PE-U65-106F-2	250	[REDACTED]	[REDACTED]	蓋間圧力異常	免震重要棟 警報表示箱(H13-B001)	良	

判定基準: 許容範囲以内で警報及び表示灯が作動すること。

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~
 品質記録 (名称、日付) : 使用前検査 (社内) 成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 2023年 10 月 25 日

当該検査は令和4年4月13日に実施したが、監視装置の一部を故障のため交換したことから、交換のあった装置について再度確認を行った。

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (除熱監視機能検査) 記録

検査年月日: 令和4年 4月 13日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	計器番号	設定値 (°C)	許容範囲 (°C)	動作値 (°C)	警報		結果
					表示名称	表示場所	
60号機	TE-U65-107E						良
61号機	TE-U65-107F						良
62号機	TE-U65-108E	79			表面温度 異常	免取車票 警報表示箱 (H13-Bool)	良
63号機	TE-U65-106F						良*

判定基準: 許容範囲以内で警報及び表示灯が作動すること。

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

2022年 3月 28日、2022年3月29日 (監視装置)

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (除熱監視機能検査) 記録

検査年月日: 令和5年 3月 9日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	計器番号	設定値 (°C)	許容範囲 (°C)	動作値 (°C)	警報		結果
					表示名称	表示場所	
64号機	TE-U65-108F	79	[REDACTED]	[REDACTED]	表面温度異常	免震重要棟 警報表示箱 (H13-Bool)	良
65号機	TE-U65-109E						良
66号機	TE-U65-109F						良
67号機	TE-U65-108C						良

判定基準: 許容範囲以内で警報及び表示灯が作動すること。

備考

*1
~~*は立会を示す。それ以外は、~~ 申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 2022年 8月 3日, 2022年 8月 10日 (監視装置)

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑: 確認

*1: 取り消し線追記 令和5年10月11日 山中

機能検査 (除熱監視機能検査) 記録

検査年月日: 令和5年 6月 23日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	計器番号	設定値 (°C)	許容範囲 (°C)	動作値 (°C)	警報		結果
					表示名称	表示場所	
68号機	TE-U65-108D	79	[REDACTED]	[REDACTED]	表面温度 異常	免震重要棟 警報表示箱 (H13-B001)	良
69号機	TE-U65-107A						良
70号機	TE-U65-107B						良
71号機	TE-U65-108A						良
72号機	TE-U65-108B						良

判定基準: 許容範囲以内で警報及び表示灯が作動すること。

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用前検査成績書 (社内検査)
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)
 (監視装置)

2023年 5月 31日, 2023年 6月 1日

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

☑: 確認

機能検査 (除熱監視機能検査) 記録

検査年月日: 令和5年9月5日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	計器番号	設定値 (°C)	許容範囲 (°C)	動作値 (°C)	警報		結果
					表示名称	表示場所	
69号機	TE-U65-107A	79	[Redacted]	[Redacted]	乾式キャスク7A 表面温度高	免震重要棟 キャスク設備 監視端末	良
70号機	TE-U65-107B				乾式キャスク7B 表面温度高		良
71号機	TE-U65-108A				乾式キャスク8A 表面温度高		良

判定基準: 許容範囲以内で警報及び表示灯が作動すること。

備考

~~*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認~~
 品質記録 (名称、日付): 使用前検査 (社内) 成績書
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 2023年9月5日

当該検査は令和5年6月23日に実施したが、監視装置の一部設備更新があったことから、更新された設備について再度確認を行った。

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

✓: 確認

機能検査 (除熱監視機能検査) 記録

検査年月日: 令和5年 10月 4日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

機器番号	計器番号	設定値 (°C)	許容範囲 (°C)	動作値 (°C)	警報		結果	
					表示名称	表示場所		
72号機	TE-U65-108B	79	[REDACTED]	[REDACTED]	乾式キャスク8B 表面温度高	免震重要棟 キャスク設備 監視端末	良	
/	/			/	/	/	/	/
/	/			/	/	/	/	/
/	/			/	/	/	/	/
/	/			/	/	/	/	/

判定基準: 許容範囲以内で警報及び表示灯が作動すること。

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認
 品質記録 (名称、日付) : 使用前検査 (社内) 成績書
 設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
 2023年 10月 3日

当該検査は令和5年6月23日に実施したが、監視装置の一部設備更新があったことから、更新された設備について再度確認を行った。

記録確認分については検査用計器が検査実施日に有効であったことを確認する。

: 確認

機能検査 (外観・据付検査) 記録

検査年月日: 令和5年 10月 4日

検査場所: 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査範囲: 使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

乾式キャスク支持架台、コンクリートモジュール

機器番号	判定基準	結果
60号機 61号機 62号機 63号機 64号機 65号機 66号機 67号機 68号機 69号機 70号機 71号機 72号機 *	申請された全ての機器が実施計画に記載されているとおりに据付けられ、機能・性能に影響を及ぼす表面のかき傷、クラック、変形等の有害な欠陥がないこと。	良

備考

*は立会を示す。それ以外は、申請者の品質記録により確認

品質記録 (名称、日付): 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用前検査成績書 (社内検査)

設備名: 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

使用済燃料乾式キャスク (輸送貯蔵兼用キャスクB)

令和4年 8月 2日
 令和4年 11月 25日
 令和5年 3月 4日
 令和5年 5月 16日
 令和5年 5月 31日
 令和5年 6月 20日
 令和5年 6月 23日
 令和5年 7月 19日
 令和5年 7月 20日
 令和5年 8月 10日
 令和5年 8月 24日
 令和5年 9月 5日

検査用計器一覧表 (立会分)

検査年月日: 令和2年9月30日

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
耐圧・漏えい検査	圧力計	MP-005	2020.7.22 2020.10.21	
	圧力計	MP-006	2020.7.22 2020.10.21	
	以下余白			

検査用計器一覧表 (立会分)

検査年月日: 令和3年3月11日

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	ノギス	5151V020	2020.10.20 2021.10.20	
	以下余白*			

*:追記 令和5年10月11日 丸山

検査用計器一覧表 (立会分)

検査年月日: 令和3年3月18日

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	金属製直尺	5151K331	2019.9.30 2022.10.20	
	以下余白			

検査用計器一覧表 (立会分)

検査年月日：令和3年4月8日

設備名：使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	金属製直尺	5152K171	2018.6.11 2021.6.20	
	以下余白			

検査用計器一覧表 (立会分)

検査年月日: R3 年 8 月 20 日

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	超音波厚さ計	5151Q954	2020.9.14 2021.9.13	
	以下余白			

検査用計器一覧表 (立会分)

検査年月日: 令和3年9月^{28日}29日

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
耐圧・漏えい検査	圧力計	5152P021	2020.10.26 2021.11.20	
	圧力計	5154P084	2020.10.26 2021.11.20	
	以下余白			

検査用計器一覧表 (立会分)検査年月日: 令和3年10月1日設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	鋼製巻尺	5150K780	2019.11.1 2022.11.20	
	以下余白			

検査用計器一覧表 (立会分)

検査年月日: 令和3年11月18日

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	鋼製巻尺	5150K803	2021.4.26 2024.5.20	
	超音波厚さ計	5151Q955	2021.6.15 2022.6.14	
	以下余白			

検査用計器一覧表 (立会分)

検査年月日: 令和3年11月18日

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
機能検査 (未臨界検査)	超音波厚さ計	5151Q955	2021.6.15 2022.6.14	
	以下余白			

本頁追加 令和3年12月17日
佐藤

検査用計器一覧表 (立会分)

検査年月日: 令和4年3月29日

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
機能検査 (吊上荷重検査)	ロードセル	5151H922	2021.7.13 2023.7.20	
	以下余白			

検査用計器一覧表 (立会分)

検査年月日: 令和4年 4月 13日

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
機能検査 (密封監視機能検査)	デジタル圧力計	B-64	R3.11.18 R4.11.30	
	デジタル圧力計	B-78	R3.6.8 R4.6.30	
	以下余白			

検査用計器一覧表 (立会分)

検査年月日: 令和4年 4月 13日

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
機能検査 (除熱監視機能検査)	標準電圧電流発生器 (測定器)	D-32	R3: 11.16 R4: 11.30	
	以下余白			

検査用計器一覧表 (立会分)

検査年月日: 令和4年 4月 ~~18~~¹⁹日
 20日

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
機能検査 (気密漏えい検査)	校正リ-7	5151Z023	2022.1.21 2023.1.20	
	絶対圧力計	5350P001	2021.7.26 2022.8.20	
	デジタル温度計	5150U916	2021.8.17 2022.8.20	
	キャパシタンスマノメータ	5150P929	2021.6.22 2022.6.20	フレ用
	キャパシタンスマノメータ	5150P930	2021.6.22 2022.6.20	バント用
	以下余白			

* 令和4年10月20日 修正 山中

検査用計器一覧表 (立会分)

検査年月日: 令和4年7月12日

設備名 : 使用済燃料乾式キャスク仮保管設備

検査項目	計器名称	計器番号	校正年月日 有効期限	備考
機能検査 (気密漏えい検査)	校正リーフ	6581	2021.12.23 2022.12.22	
	デジタルマルチメータ	MY45053202	2022.1.19 2023.1.18	
	真空圧力センサー	2170598	2022.1.20 2023.1.18	
	温度計測器	NX4505B201	2022.1.19 2023.1.18	
	温度センサー	4510182-001	2022.1.19 2023.1.18	
	以下余白			